

平成 27 年度 第 2 回安城市環境審議会分科会議事録要旨

日 時	平成 27 年 6 月 19 日(金)午前 10 時 00～11 時 30 分	
場 所	安城市文化センター 2 階 第 22 会議室	
出席者	委 員	竹内委員、中島委員、山田委員
	事務局	環境部長、環境首都推進課長、環境首都推進課課長補佐、環境首都推進課環境保全係長、環境首都推進課職員
次 第	1 副市長あいさつ 2 議題 (1) 環境基本計画の体系案について(資料 1) (2) 各分野の新規施策の方向性(資料 2) 3 その他	

1 副市長あいさつ

2 議題

(1) 環境基本計画の体系案について(資料 1) 事務局より説明

【中島委員】

私がいつも言うキーワードが 4 つある。化石燃料を使わない、省エネ、再生可能エネルギー、水素燃料だ。水素燃料は化石燃料を使ってつくるが、使わない方法もある。化石燃料を使わない方法では、自転車や薪ストーブがある。省エネは大切なので、LED に変えるなど無理なく出来る程度で、もう少し進められるようにしたい。省エネは元手がなくても出来る。究極では使わない、というのもあるかもしれない。

事務局：最近では、産業でもエネルギーを使わない方向に進んでいる。

【山田委員】

そういう方向になる。家電はモトを取るまで 10 年以上かかるというが、効率良く使うためには買い替えた方が良くことがある。家でもエアコンは 10 年以上使うと動きが悪くなるので、買い替えを薦める。車も星の数で効率の良さをアピールしている。全体の普及率や、恩恵の率などで買い替えを促せないか。

事務局：これまでの分科会でも、HEMS の効果を具体的に示せないかと言う意見があった。

【山田委員】

機械の省エネは 10 年以上でモトを取る、取らないという話よりも、固定費を下げるという視点で取組む必要がある。

【竹内委員】

水循環の話は、質と量、生物の話もあり、どこに入れるかが難しい。

事務局：市では根羽村の話があるので、川上と川下で考える。

【山田委員】

水源涵養の考え方もある。

事務局：企業では、アイシン精機も植樹をしている。

【竹内委員】

国では、水循環基本法ができた。

エネルギーは、利用の視点より、つくる、あるいは使う量を減らす等の考え方は。

【中島委員】

再生可能エネルギーは、つくる、になる。

【竹内委員】

排熱など、つくる、の考えもありではないか。エネルギーをつくる、使う。

事務局：市では、エネルギーの創蓄省とあって、つくる、ためる、使う、を進める。

【中島委員】

太陽光利用と同じで、まだ儲からないので、システムをセットで売る業者もある。

事務局：エネルギーをつくって、使わずに売るのもありではないか。

【中島委員】

スタートダッシュキャンペーンみたいなもので、全量売るのも良いのでは。

事務局：エネルギーを自分で作って使うと、ロスもない。

【中島委員】

田舎で、送電線を長くつくるよりも良い。送電線は盗まれることもある。

事務局：電力事業は、2020年までに送電と発電、小売の3つに分けられる、現行の業者が変わるかもしれない。ガスの業界も変わるかもしれない。

【竹内委員】

ガス会社でも管を公共財扱いにして、2017年から家庭でも自由にも買える。FITで小売業者が電気を買わなければならなくなった。来年から域内にある発電電力をまとめて家庭に売ることになる。

事務局：地元でつくった電気を地元で売る。

【竹内委員】

電力のCO2排出係数は低くなる。儲かるので次の再生産が増える。

事務局：低炭素の考え方では、再エネ業者から域内で使う。

【中島委員】

全量買取により、ソーラーのイメージが変わった。電力の価値はどこにあるかというところ、市のソーラー発電の余剰分を売ったお金に価値があり、証券化出来る。それで七夕まつりの電力を賄うのはどうか。電気をたくさん使うまつりなので。

事務局：自ら電力をつくって、売る家庭は増えると思うが、小売業者の再生エネ導入率がわかれば、選択できるので、今後はそういう社会になる。今は過渡期。そういう流れを行政がキチンと示す。それが行政にできる事。

【竹内委員】

しかし、アンケート結果にもあるが、やはり値段で動いてしまう。

事務局：事業者は削減目標を達成するために電力会社を切り替えるが、家庭は、切り替えることを働きかけられない。施策としては難しい。

【竹内委員】

値段も難しい。大手はセット割を始めている。行政も、ごみ等と併せたセット割などはどうか。

事務局：ケーブルテレビとのセット割なら可能か。

エネルギーの小項目はすべて「利用」でまとめられているが、「次世代自動車」を交通に入れるかは難しい。エネルギーをつくる、使う、ためる、の目線で捉えるかの違いで、分けるのが難しい。現行計画は生活シーンで分けていた。

【山田委員】

「利用」とあるが、明確になっているイメージだ。現行では省エネ行動をイメージするものがない。行動の促進も。

次世代自動車の利用に関して、交通はインフラなのか、ソフトなのか、そこで示しては。

事務局：小項目のわけかたは議論中。現段階は、市の施策を意識した整理になっている。

【山田委員】

安城市の施策がわからないまま話しているが、施策と離れてしまうと動かなくなる。

【中島委員】

創エネ、省エネとあるが、省エネと再生可能エネルギーというのはどうか。水素利用やエネファームもあるので。

【竹内委員】

水素もつくる際に化石燃料を使う。現状は天然ガスと同じ。

事務局：国の再生可能エネルギーのロードマップにも水素燃料は扱われている。安城市には先導性が必要と考えているので、水素燃料を使うことで差別化したい。

【竹内委員】

アイシンさんの技術ではどうか。

【山田委員】

親会社ではエネファームを作っている。

太陽光パネルは、どれが効率が良いか実験中。発電効率が10%止まりなので、そのブレイクスルーを探している。フィルムタイプの発電パネルもある。

【竹内委員】

もう少しで量産化出来るタイミングなら、率先的に進めてはどうか。全国初になる。

事務局：水素燃料も入れたかったが、取り組みが少ない。創蓄省は国のフェーズ1にあたり、書き方次第になる。

【中島委員】

愛知万博の時に水素社会と言っていたのが、ようやくハードが追いついたところ。

事務局：市でも、FCVの補助制度ができた。

【竹内委員】

ドイツもパワー・ツー・ガスで、電気・水素も再生可能エネルギーを使う絵を書いている。

【中島委員】

電力の使い道はあるのに、九州電力は馬鹿な事をしている。

【竹内委員】

安城らしさを出したい。

川崎だと、日輝が水素ステーションをつくる。

事務局：計画は5年内の計画なので、安城だからできる事を入れる。施策や現行計

画のようなプロジェクトには、エネルギーで特色を出してみたい。
首長誓約もあるので、そのスキームと計画を上手くリンクさせたい。

【竹内委員】

温暖化の方もつくっていく。国の目標-26%とか、同じことはできない。

事務局：オイルショックの時のようなことがないと進まない。我慢より、技術で解決する。

【中島委員】

京都議定書もリーマンショックのお陰で目標達成できた。

【竹内委員】

CDM もあった。

事務局：産業は安城といえば農業、用水を整理する。

【竹内委員】

地域資源という考え方にはしては。

事務局：現在は、国の施策と合わせた体系にしている。

【中島委員】

産業というのがよくわからない。

事務局：環境保全型農業というメモを入れたが、商工会とも話をしたが、地元製品を支援することをここで扱いたい。

【中島委員】

ものづくりコンベンションとか、商品、サービスを洗い出して、テーブルに全て出して考える必要がある。

事務局：今は入札にしているが、商品を使うすべがない。

農業は自然の方が良いか。大項目、中項目、小項目、つながっているところと、そうでないところもあるので、再構成する。

(2) 各分野の新規施策の方向性（資料2）事務局より説明

【竹内委員】

渋滞解消があるが、便利になると車はCO2を増やす。ガソリン使用量が減っている
ので、良いかもしれないが。

【中島委員】

自宅から会社まで2.5kmあり、歩いていた。使わなかったガソリン代を計算したら、1年間でいくら、CO2でいくら、と計算できた。ヘルニアでストップしたが。自転車ですぐに得したか、という話、自転車買うのにいくらかかったが、何年で、ゼロになった、とか、体調が良くなった、ダイエットになったとかの話を紹介しては。

事務局：市では一時期エコチャリ通勤というのを導入した。サルビア商品券がもらえる。

【中島委員】

やってみないと計算しない。

事務局：自転車通勤をしている人は多い。

【中島委員】

自転車通勤は、雨の日は無理しない、というのが続けられるコツ。辛い条件でやると、続かない。

【竹内委員】

節約したお金を何に使ったのか、という話も良い。

【山田委員】

アイシンさんは、南桜駅をつくってもらったので、名鉄を使ってもらうことを重視している。また地域への影響を考えると、通勤時の渋滞対策も必要なので、サルビアスタンプでも良いし、利便性を考えてもらう事も大切。

事務局：先日の分科会でも意見があったが、トピックスで情報提供すると、読んでくれる。

【中島委員】

オトクな情報をHPでも提供しては。

事務局：市として見てもらうための情報を提供したい。

【中島委員】

安城は平らなので、自転車には良い。

【竹内委員】

放置自転車が減って改善された。

事務局：手入れしてレンタサイクルに利用している。

【中島委員】

私の会社に来る人がよく使っている。ビジネスで使う人は多いらしい。

事務局：無料で貸し出すのは、他では見ない。

【山田委員】

そういう話は、トリビア的に周知しては。
固定料金で優先的に使えると良いのでは。

事務局：そうすると、サイクルシェアになる。

【竹内委員】

以前名古屋市でコミュニティサイクル「名チャリ」を5年間実証実験したが、センサーが付かず、終了した。
パリや富山でも実施しているが、利用率が下がっている。

【山田委員】

1ヶ月使うとサルビアスタンプになるとか。

【中島委員】

タダのレンタサイクルがあるというのは知られていない。

事務局：レンタサイクルは、安城駅を降りた方へのアピールを考えている。安城駅からデンパークに行く等の利用を想定している。
乗り捨てなので、週1回トラックに積んで再配置している。通勤時間帯に使えるら便利になる。今後はキーモビに移行するかもしれない。

3 その他
特になし。

(以上)